

IAEG Congress 2010 研修旅行の概要

一般社団法人日本応用地質学会東北支部 支部長 橋本 修一

1. はじめに

日本応用地質学会東北支部は 2011 年度に創立 20 周年を迎えます。その前年である 2010 年 9 月、国際応用地質学会 (IAEG) コンgressが、Geologically active をメインテーマとして、ニュージーランド北島・オークランドで開催されました。コンgressは 4 年に一度の大規模な国際イベントで、各国の応用地質学に関わる研究者・実務者が数多く集い、日ごろの研究成果を発表し、また最新の技術情報を紹介しあって技術力を高め、さらには飲みあいながら、交流の幅を広げあるいは深めることができる最大の場です。

支部としては、20 周年事業にかかわる行事として本コンgressに参加し、支部調査団の岩手宮城内陸地震における祭時地区調査結果発表での意見交換、各種知見・情報の収集を行いました。また、コンgress後、支部と支部会員の今後の活動に参考にすべく、支部独自に、日本と類似した活動的テクトニクスと

地質を有する同国の火山・地熱地帯周辺および活断層等の地質巡検を行いました。

火山・地熱資源の活用の仕方、噴火や大規模地震、土石流、地すべりなど、災害後の復旧・復興状況、活断層法による土地利用の規制の実情など、国や社会の状況は異なるとはいえ、今後の日本において大いに参考になる実例も現地で確認することができました。

今回の IAEG でも、テロワールが「地質工学関連セッション」のひとつとして発表がありました。コンgress 2 日目にはワインツアーも用意されました。単なる酒好きの地質屋の集まりではなく、食文化における応用地質学の役割が非常に高いということも見られました。

今回のコンgress参加・地質巡検の成果は、来年度の 20 周年記念事業にも反映することを考えています。

11TH IAEG CONGRESS
Geologically Active

REGISTRATION BROCHURE

5-10
SEPTEMBER 2010
SkyCity Convention Centre,
Auckland, New Zealand

IAEG
CONGRESS 2010

IAEG
Auckland 2010

2. 行程の概要

日時：2010年9月5日(日)～9月10日(金)

場所：オークランド他（ニュージーランド）

本会議は、4年に一度開催される国際応用地質学会^(注)の学術大会で、世界各国から応用地質学（地質工学）に関連する技術者・研究者が集まり、最新の技術・研究成果の発表・紹介、調査器具等の展示等を通して交流するものです。今回の参加者約700人(日本から約30名・参加者名簿あり)。

(注) International Association for Engineering Geology and the environment

応用地質学に関する国際学会で、応用地質学の進歩、技術向上、研究を促進、奨励し、世界中の活動の成果を収集し評価して普及させることを主目的として1964年に設置。主要加盟国はフランス、イギリス、アメリカ、日本、ポルトガル、オーストラリア、イタリア、中国、カナダ、ドイツなど。

今回のメインテーマは「地質学的活動域」で、日本と類似した活動的テクトニクスと地質を有するニュージーランドで開催されました。5つの基調講演のほか、600編以上の学術発表、評議員会などが開かれました。その概要は別報告(高見副支部長)を参照ください。

応用地質学会東北支部はグループ^(注)を組織して本コンgresに参加、2008年岩手宮城内陸地震における災害現象の調査結果のポスター発表(概要集：p.9, 論文集(CD)のp.715～722)をはじめ、大会期間中に各種情報収集を行ないました。また支部独自に火山・活断層・地すべりなどの地形・地質現象の観察研修を行ないました。行程と参加者は別表を参照ください。

なお、日本を出発した9月4日未明、南島クライストチャーチの西方でM7.1の内陸地殻内の地震(Darfield地震と称された)が発生しました。幸い犠牲者もなく、日本ではほとんど話題になりませんでした。現地では、連日被害状況が報道されていました。

特にコンgres会場では、20数キロに及ぶ地震断層出現の映像がGNSのヘリ空撮で示され、また臨時速報会も開かれました。それら情報を整理して報告いたします。

【入手資料について】

コンgres参加者には、次の資料が配布されました。より詳しく知りたい場合は、参加登録を行なったメンバーが所有していますので、これらをご覧ください。

- 論文集 基調講演、招待講演を収録 B5判 341p. (CD：全投稿論文のフルペーパー収納)
- 概要集 全投稿論文の extended abstract(1p)集 A5判 651p.
- IAEG2010・参加者名簿(email アドレス付)

また、現地、GNSにて、下記の説明書つき地質編集図(25万分の1)を購入いたしました。正式報告書にはこれらから得られた知見も整理する予定です。

- Geology of the Auckland Area
1:250,000 geological map. 2001
- Geology of the Wellington Area
1:250,000 geological map. 2000

以上